

貧酸素水塊速報 (2022年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター
 ○ 神奈川県水産技術センター
 【協力】 千葉県環境研究センター
 第三管区海上保安本部
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

千葉県農林水産技術会議
 内湾底びき網研究会連合会
 東京都環境局
 (国)国立環境研究所

令和4年9月5日観測結果

貧酸素水塊は、内湾北部に分布していました(図1)。縦断ラインでは、その規模が17%に上昇しました(図2,3)。9月8日から13日まで北寄りの風が続く予報のため、局所的な青潮が発生する場合があります。注意して下さい。
 表層水温は24~27℃、底層水温は18~26℃でした。

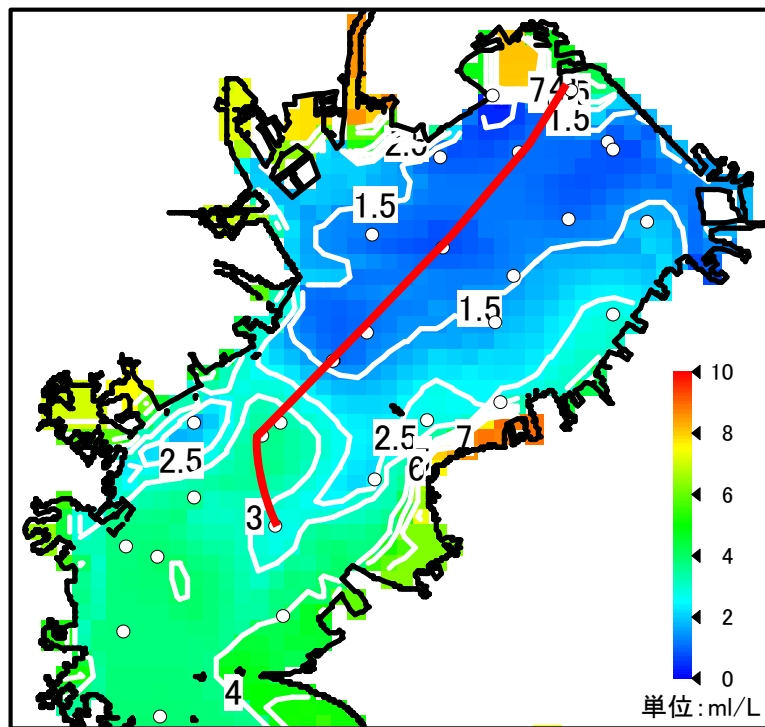


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

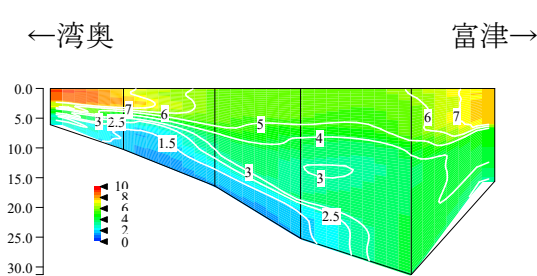


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

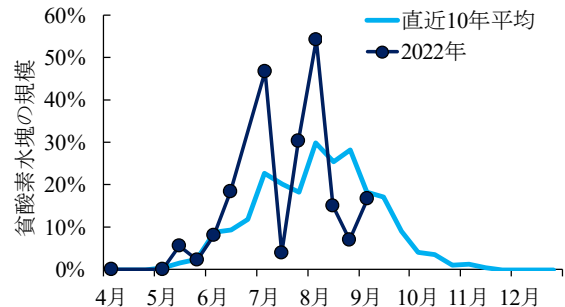


図3 貧酸素水塊の規模

(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)

酸素飽和度と溶存酸素量(DO)の目安		
酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5mL/L	貧酸素水塊
30~40%	2.0mL/L	魚類に影響
	1.5mL/L	貝類危険
	1.0mL/L	